



すまいるん vol.62

社会福祉法人 済生会
済生会熊本福祉センター

- 就労継続支援A型・B型
就労移行支援
済生会かがやき
- 幼保連携型 認定こども園
済生会しらふじ子ども園
児童発達支援センター
済生会なでしこ園
- 就労継続支援B型
生活介護
済生会ほほえみ
- 済生会グループホーム事業所
済生会熊本福祉相談支援センター
- 就労継続支援A型・B型
済生会ウイズ
- 熊本市障がい者相談支援センターさいせい
熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい者相談支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約620名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

- 基本方針**
- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
 - ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
 - ・利用者主体の福祉を実践します。

済生会かがやき・済生会ほほえみ ミニ夏祭り

8月7日(土)に済生会かがやきと済生会ほほえみのそれぞれで「ミニ夏祭り」を行いました。当日はミニ夏祭りに合わせて済生会ウイズで作っている給食も特別メニューになっており、管理者3名によるかき氷も振る舞われました。新型コロナウイルスの影響で「済生会内田夏祭り」は今年も中止となってしまいましたが、夏祭りの雰囲気を感じることができた楽しい1日となりました。

ほほえみ



くじ引き



射的ゲーム

かがやき



輪投げ

かき氷



かがやき・ウイズ・ほほえみの管理者がかき氷を作りました!

給食

特別メニュー

- 夏野菜カレー
- 冷やしそうめん汁
- 唐揚げ
- フランクフルト



ポウリング



風鈴作り



「夏はやっぱりかき氷!!」



「とっても美味しくお腹いっぱいになりました!」

人材育成プログラムの研修会

6月24日、7月15日にほほえみ多目的ホールで人材育成プログラムの研修会を開催しました。6月に行ったのは2年目までの新入職員を対象にしたフレッシュマン研修です。24名が参加し、新入職員としての心構えやアサーティブ(自他を尊重した自己表現)なコミュニケーションについて学びました。

7月に行ったのはチューターフォロー研修で23名が参加しました。当センターでは今年度からチューター制度(新入職員に対し特定の職員を選任指導役として付ける制度)を導入しましたが、課題や問題点を整理したり、チューター同士の悩みを共有したりすることができました。

いずれも講師のブレインスター田木先生のおかげで、和やかな雰囲気の講義やグループワークとなりました。



フレッシュマン研修



チューターフォロー研修

しらふじ子ども園・なでしこ園 合同救急法講習会

7月1日(木)、「しらふじ子ども園」と「なでしこ園」の職員合同で救急法講習会を行いました。密を避けるため、3グループに分かれて行っています。

今回は、済生会熊本病院の看護師2名に講師として来て頂き、「小児の重要ポイント」「コロナ禍での対応」「一次救命処置」などについて学びました。

「一次救命処置」では、【発見・安全の確認】→【意識の確認】→【呼吸の確認】→【胸骨圧迫】→【AEDの使用】のように一つひとつの段階を経ながら実技を行いました。2分間の胸骨圧迫が終わった後の皆さんの疲れた表情が印象的でした。

「コロナ禍での対応」では、傷病者はすべて感染者として、口にハンカチやタオルを置いて対応することを学びました。

また、身体が小さい小児へのAED使用では、パッドを「胸側」と「背中側」に貼ることで、重なりを防ぐことができるということも学びました。

もしも何かがあった時に、職員間で連携を取りながら、今日の学びを生かしていきたいと思います。



済生会熊本福祉センター

おしらせ

10・11・12月の行事予定

済生会
しらふじ子ども園

- 10月 9日(土) 第18回運動会
- 10月30日(土) うさぎ組座談会
- 11月13日(土) ぱんだ組座談会

済生会かがやき

- 10月 9日(土) かがやきミニ運動会
- 12月 4日(土) 第18回発表会
- 12月15日(水) もちつき
- 12月24日(金) クリスマス会
- 12月18日(土) かがやき忘年会

※新型コロナウイルスの影響により中止・延期となる場合がございます。

花の日訪問

済生会しらふじ子ども園

6月3日(木)・4日(金)に、今年で18回目になる、「花の日訪問」に行きました。今年度もコロナの影響で、4グループに分かれ、少人数でのお届けとなりました。牛乳を届けてくれる「成瀬さん」、野菜を届けてくれる「八百屋さん」、「消防署」に「交番」、歯科検診でお世話になっている「城南歯科さん」、など計17ヶ所へ行き、ガーベラやカランコエなどの花を、「いつもお仕事ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。」という言葉とともに渡すことが出来ました。みなさん、「ありがとうございます。」と、にこやかに受け取って下さり、子どもたちも嬉しそうでした。



運動会

済生会ほほえみ

今年も新型コロナウイルス感染防止の観点から施設内のホールで、手洗い・消毒・換気には十分配慮しながらの開催となりました。

競技も新型コロナウイルス感染防止の為、パン食い競争をパン釣りゲームに変更、コロナ撃退リレーを取り入れるなど例年とは違った競技となりました。

今までと違った競技を取り入れることで利用者の皆さんの普段と違った姿を見ることができたのは、とても新鮮でした。声援と笑顔溢れる楽しい運動会になりました。



令和3年度 熊本県障がい者技能競技大会

済生会かがやき

アビリンピック熊本大会 2021 に参加してきました!

6月26日、27日に開催されたアビリンピック熊本大会に済生会かがやきから、喫茶B競技に利用者1名、ビルクリーニング競技に利用者1名が出演されました。

喫茶B競技に出演された利用者は初めてのアビリンピックという事もあり、緊張されていましたが、練習で支援員とともに学んだ事を当日発揮する事ができ、見事に金賞を獲得されました。「来年もがんばりたいです」と言われていました。

また、ビルクリーニング競技に出演された利用者は毎年出演されている大会ですが、今回も仕事後の練習を支援員と一緒に頑張り本番に望みました。当日は、1番目という事もあり、緊張もあったと思いますが、銅賞を獲得する事ができました。「緊張しましたが、来年もがんばりたいと思います」とご本人は言われていました。

今回のアビリンピックに支援員も介助者として参加させて頂き、支援をする上での新たな課題についても発見する事ができました。来年度もこの舞台で利用者が活躍できるように、今後も支援をしていきたいと思ひます。



合同研修会

済生会なでしこ園・済生会しらふじ子ども園

今年度よりなでしこ園としらふじ園では職員同士の「交流」と「連携強化」を目的とした合同研修会(年間5回を予定)が始まりました。今回は7月1日(木)の「救急法研修」に続く2回目として、7月21日(水)に「子どもの発達理解と必要な支援」と題した研修会が行われ、両園より計33名の支援者が集まり、前半はなでしこ園の水橋(児童発達支援管理責任者)と山田(言語聴覚士・機能強化員)による講義、後半は3グループに分かれてグループワークが行われました。グループワークではそれぞれの職員が発達支援において重要視していることや、支援における日頃の悩みやそれぞれの考え方などを共有する中でこれまで以上に職員同士が近い存在に感じられたようです。また「今度は〇〇について意見交換してみたい」など更なる交流を求める意見も出て、有意義な時間となりました。今回の研修会をきっかけに職員間の関係性がより近く深いものとなり、発達支援の質の向上に向けて協力体制を整えていければと思ひます。



給食の献立について

済生会ウイズ

～郷土料理を届けます～

給食では地域の食材を活かした郷土料理をメニューに取り入れて提供しています。7月の給食で提供されたキムタクご飯をご紹介します。伝統的な漬物文化のある長野県の郷土料理です。子ども達に漬物をおいしく食べてほしいという想ひがあり、学校給食から生まれました。

『キムタク』は、「キムチ」と「たくあん」をかけ合わせた、某人気グループの方にちなんだキャッチーな名前です。刻んだベーコン、キムチ、たくあんを炒め、薄口しょうゆで味を調えたら炊きたてのご飯と混ぜて完成です。キムチやたくあんの食感とご飯の味がマッチしており美味しかったです。皆さんにも好評でした。食欲のない日にはもってこいのメニューです。



各施設・事業所紹介

「済生会グループホーム事業所」

済生会グループホーム事業所は、14ホーム、定員90名(内田町3ホーム・並建町7ホーム・西区方面4ホーム)で、障がいのある方が必要な支援を受けながら共同生活をしている住まいの場です。

日中は、障がい福祉サービス・介護保険サービス・一般就労などの活動の場に出かけられますので、主に夜間や休日の生活を支援しています。うちだホームでは、夜勤者を配置して24時間体制で支援を行っています。並建・西区方面のホームは、世話人による食事提供だけでなく、支援員が定期的な巡回訪問を行っています。一人ひとりのニーズに合わせて身体介護(移動・入浴・排泄・食事)、就労支援、相談支援などを行い、利用者が地域の中で自立した生活を送れるように支援をしています。

利用者の障がい特性や生活様式も様々ですが、一人ひとりに合わせた内容で、利用者が安心して生き生きと生活ができるように支援に取り組んでいます。



発行所

済生会熊本福祉センター

発行責任者 宮川 栄助

編集 広報委員会

熊本市南区内田町3560-1

TEL 096-223-3330

FAX 096-223-3429

<https://www.sk-fukushi.jp/>